



部署紹介

西宮渡辺心臓脳・血管センター

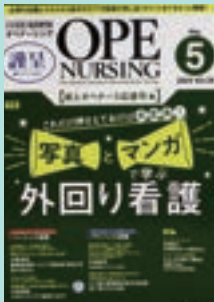
手術部 手術室



4月から手術室は手術部所属となり、新たにスタートしました。

同時に中央材料室スタッフを迎え、教育をしながら、看護師が専門の業務に専念できる環境を整えていっています。また、手術室では、手術件数増加に対応できるように看護師教育を行うと同時に、ワークライフバランスが充実でき、相乗効果が生み出せるマネジメントをしました。教育は、手術室クリニカルラダーに沿って系統的に進め、他院への手術見学を行うこともしています。また新人教育に関しては、手術を受ける患者の入院から術後歩行までを受け持つローテーション研修を計画しています。昨年、この研修を経験した2年目の看護師が、研修での学びを執筆しました。以下に紹介します。

手術看護の総合専門誌である「オペナースィング（OPE NURSING）」に手術部の濱崎弘子師長、前川涼雅看護師の執筆した「周術期看護と患者の心情の実際 ～ローテーション研修で学んだオペナースがわかっておきたいこと～」が掲載されました。



婦人科 診療開始・泌尿器科 診療充実

西宮渡辺病院

西宮渡辺病院にて **7月16日**より **新しい外来診療ブース**にて 婦人科と泌尿器科の診療を開始します。

婦人科外来診療予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	—	●	●	—
午後	●	●	—	●	●	

【資格・認定医】
 ●日本産科婦人科学会専門医
 ●日本女性医学学会専門医
 ●マンモグラフィ読影認定医
 ●日本抗加齢医学会専門医
 ●日本医師会認定健康スポーツ医

●母体保護法指定医
 ●日本産婦人科乳腺医学会認定医
 ●日本性感染症学会認定医
 ●日本医師会認定産業医



西川 英樹
婦人科 部長

泌尿器科外来診療予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	—	—	—	—	—	呉 秀賢 (2・4週)
午後	山田 祐介 (1・3・5週) 大嶋 浩一 (2・4週)	田口 元博	—	藤森 優里奈	—	

『手術数でわかるいい病院 2024』に掲載されました。

週刊朝日ムックより発行されております『手術数でわかる いい病院 2024』に、西宮渡辺心臓脳・血管センターが掲載されました。

●心臓カテーテル治療件数

近畿圏で12位、兵庫県内で2位のトップクラスの手術件数でした。TAVIの件数も年々増加しています。

●不整脈治療件数

近畿圏で15位、兵庫県内で5位のトップクラスのカテーテルアブレーションの件数でした。

●心臓手術件数

近畿圏で30位、兵庫県内で10位の手術件数でした。特にオフポンプ手術の件数は、兵庫県内の民間病院として1位の手術件数でした。



法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック/西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック/介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ/グループホームてまりの家

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり

すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ/西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション/ 健康塾

通所リハビリテーション/ 居宅介護支援センター西宮わたなべ/西宮渡辺ヘルパーステーション/西宮市中央在宅療養相談支援センター

●社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199
 【URL】 <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



社会医療法人渡邊高記念会 広報誌

わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine



vol.134

2024.7.18



西宮渡辺心臓脳・血管センター 開院記念



「理事長 ご挨拶」

社会医療法人 渡邊高記念会
理事長

佐々木 恭子



6月1日は、法人創設者 故 渡邊高の誕生日であると共に

「西宮渡辺心臓脳・血管センター」

「西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院」

「42条疾病予防運動施設 健康塾」

「老人保健施設 ハートケア」

私共法人が運営する二つの病院と二つの施設の開院記念日です。



今年も無事になんとかこの日を迎える事ができました。皆様のご協力とご支援、心より御礼申し上げます。創設者の最後の夢を背負い開設された心臓脳・血管センターと 42条疾病予防運動施設「健康塾」、老人保健施設「ハートケア」の設立は2006年で今年19年目の歩みを開始します。「脳卒中・心臓 リハビリテーション病院」の設立は2018年ですからこちらは今年7年目を迎えます。センターは高度急性期のそしてリハビリテーション病院は回復期の脳、心臓そして血管疾患を専門とする病院で、二つの病院を合わせれば救命に関わる高度急性期からリハビリテーションそして予防に至るほぼ全ての脳、心臓、血管に関わる疾患に対応可能となります。心肺停止に至る救急の多くは循環器そして脳血管の疾患と言われますから救急車と共に現場に駆けつけるラピッドレスポンスカーの運用に始まる心臓脳・血管センターの活動は正に地域の救命と救急の最前線です。

皆さんはIMPELLA（補助循環用ポンプカテーテル）をご存知でしょうか？何事もなく元気に過ごしているかに見える方にも起こる突然の心臓の異変、死に向かう心肺停止、これに対応する強い味方が左心室留置循環補助ポンプ内蔵カテーテルで2017年に保険適応となっています。地域で唯一このポンプを使用して多く救命を行なっているのが私共のセンターです。急性心筋梗塞や大動脈解離など多くの救命を必要とする疾患に緊急カテーテル治療から開胸手術に至る全ての対応が24時間体制で可能な施設も地域では私共の心臓脳・血管センターだけです。その時代にあって最新・最良の医療を目指す私共の努力は、微力ながらも地域医療の向上に繋がっている事と確信します。「健康寿命の延伸を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器に係る対策に関する基本法」をご存知でしょうか？高齢化社会に於いて国民の健康長寿を願って作られた法案は死亡原因の2位と3位を占める脳血管 疾患と心疾患の発生と再予防を国民に呼びかける法案です。この法案趣旨に沿った取り組みを行なっているのが私共法人施設の中では一番南に位置する「脳卒中・心臓リハビリテーション病院」です。非常に小さな病院ですが脳血管のリハビリテーションと共に心臓リハビリテーションが可能な全国的にも珍しい新しいコンセプトで作られた回復期の病院です。3月の西宮渡辺病院のMRIの入れ替えに続き、5月には心臓脳・血管センターのCTが国内でも未だ数少ない最新鋭機種に入れ替わりました。

秋にはハイブリッド手術室の更新も予定しています。保険医療機関として歩む私共にとって、地域の医療資源の更新と充実、医療人材の育成、そしてそれらの地域への還元は全うしなくてはならない使命であるはずです。創設者の想いを紡ぐ法人全ての施設と病院がこれからも地域医療に貢献する歩みが続けられる事を願っています。

より一層のご支援とご協力を心よりお願い致します。

「管理者 兼 院長 ご挨拶」

西宮渡辺心臓脳・血管センター
管理者 兼 院長

増山 理



創立18周年、おめでとうございます。

17年間たゆまず成長してこられたのは、『敬天愛人』～命を敬い人を愛する医療の実践～という病院の理念が地域の皆さまに受け入れられてきたからだろうと思います。

西宮渡辺心臓脳・血管センターは“断らない医療”を掲げて救急車を積極的に受け入れております。応需率（救急車を受け入れた割合）約9割を維持することができているのは、ひとえにスタッフの力によるものです。9割という数字は他の病院と比べて高い数字ですが、裏を返せば、1割の患者さんを受け入れられていないということです。そのもっとも多い理由が当センターの病床が満床で新入院を受け入れられないことが多くあったからです。今後、救急医療を必要としている地域の患者さまを全て受け入れることを目指したいと思います。当センターの母体である医療法人グループには、病院、クリニック、通所リハビリ、介護老人保健施設などがあり、医療から介護まで一貫してサポートできる仕組みがあります。その後の医療ケアについて、西宮渡辺病院の回復期病床、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院や介護施設と密接に連携することによって、当センターは今までより柔軟な病床運用を心掛けたいと思います。法人内の連携で、リハビリテーションを積極的に推奨し、トータルケアを提供することは、患者さんにとってメリットが多いと確信しています。地域の皆さまにおかれましては、今後とも暖かい支援をお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 「開院記念ご挨拶」

「副管理者 ご挨拶」 西宮渡辺心臓脳・血管センター 副管理者 渡邊 慶明

6月1日は、西宮渡辺心臓脳・血管センターおよびハートケア西宮、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院の開院日であり、創設者である私の祖父の誕生日でもあります。当院は、祖父の地域の役に立ちたいという思いから設立されました。その想いから生まれた心臓脳・血管センターは、今年で18周年を迎えます。18歳というと民法上では成人とみなされる年齢です。当センターとしても、より大きな責任を果たすべく、引き続き力を尽くしていく所存です。その一環として、本年度は大型医療機器の更新を行います。CTは5月に関西民間病院初となる、シーメンス社製のPhoton Counting型CTを導入しました。また、ハイブリット室もロボットアーム型の最新型に更新予定です。しかしながらいくら機器が良くなったとしてもそれを十全に生かしていくには、引きつづき地域の方々のご理解、ご助力が必要不可欠です。引き続き力をお貸しいただけたらと思います。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



最新鋭のCTを導入しました！

西宮渡辺心臓脳・血管センターにて、2024年5月に最先端のPhoton-counting CT「NAEOTOM Alpha」を導入しました。全国で導入されている施設は、まだ11施設のための最先端のCTです。

高分解能、低被ばく、機能情報を同時に実現

Photon-counting CTは、高分解能化や低線量撮影、CT値の定量性などの基本性能が向上することに加え、X線フォトンエネルギー情報を活用したスペクトラル解析（機能情報）が可能となります。



西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 「開院記念ご挨拶」

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 院長 槌田 昌平

当院は、心臓・脳血管疾患に特化したリハビリテーション病院として2018年に開院しました。おかげさまで6月1日に6周年を迎えることができました。当法人には西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓脳・血管センターと私達の病院の3つの病院がありますが、当院は市内の南西（前浜町）に位置し、4階建て複合施設「福祉の郷」の中にあります。脳卒中を中心とした回復期リハビリテーション病棟の他に、外来部門として心臓リハビリテーションを実施しております。通所リハビリテーションも運営しており、その他に老人保健施設「ハートケア西宮わたなべ」も施設内に入っており、まさに複合的に医療と介護の連携・支援の役割を担っております。特徴として、形成外科・美容医療センターもあり、女性の皆様のサポートする外来診療も行っております。4月から前浜循環器内科センターも開設され、循環器診療も強化しています。これからも他の病院・施設ともしっかりと連携・協力して地域の皆様のお役に立てるように前進してまいりますので、どうぞ皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



新任医師 ご紹介

西宮渡辺心臓脳・血管センター

脳外科・脳卒中センター
神経血管内治療部長

大脇 久敬

おおわき ひさゆき

【専門分野】

- 脳 / 脊髄・血管障害に対する 血管内（再開通 / 塞栓）手術
- 頭 / 頸部・腫瘍に対する栄養血管塞栓術、超選択的動注化学療法 等
- 眼科・領域での 網膜中心動脈閉塞症（失明）への急性期再還流療法
- 特発性正常圧水頭症、片側顔面痙攣 / 三叉神経痛への減圧術 他



2024年6月、西宮渡辺心臓脳・血管センター脳外科・脳卒中センター / 神経血管内治療科長に着任しました大脇と申します。京大卒後、'93年 神経外科へ入局。地方の救急病院を経て、日本脳神経血管内治療学会ご開設の滝和郎先生に大学院で直接ご指導賜り、学位取得後、北野病院では血管内部門を任せて戴き、以後 四半世紀 低侵襲手術に努めて参りました。微力ながら、皆様の御力に為れますよう励みますので、何卒宜しく御願ひ申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター

脳外科・脳卒中センターの御紹介

西宮渡辺心臓脳・血管センターにおいて、脳外科・脳卒中センターが設立し、本年度10年目を迎えました。脳外科・脳卒中センターでは、これまでの大森医師、神吉医師、竹内医師、桑原医師の4名態勢に加え、6月より、血管内治療部長として大脇医師が赴任し、更に診療内容の充実が期待できるスタッフ陣となりました。（上段の新任医師紹介の項をご参照ください）

脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血といった突然に発症する脳卒中は、本邦では死亡原因の第3位、寝たきりとなる原因の第1位を占める重大な疾患です。

近年は脳梗塞に対する超急性期の血行再建術治療が進歩し、発症4.5時間以内の脳梗塞に有効とされる血栓溶解剤静注療法（tPA療法）や脳血管内治療というカテーテルによる血栓回収術が行われるようになりました。これにより従来までの“不治の病”から超急性期治療を行うことによって“治る病気”となってきました。

このような背景もあり、2015年7月に脳外科・脳卒中センターおよびSCU（Stroke Care Unit）が設立されました。

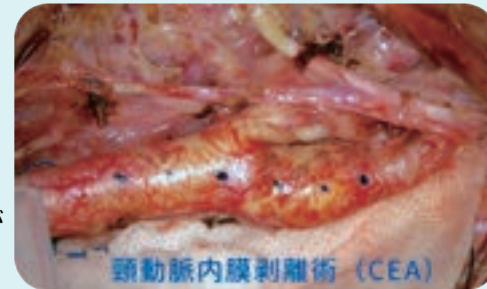
今では、阪神地区救急隊のみならず近隣医療機関に認知していただけるような状況となっており、SCUも9床で運営を続け、連日救急患者様が搬送、入院の運びとなっている状況です。

【手術実績】

右表にお示しますが、2023年は手術総件数が271件と大幅に増加、その中でも当院の特徴である脳卒中の手術が大多数を占めております。特筆すべきは、**頸動脈内膜剥離術（CEA）が54件**とおそらく

日本トップであり、また脳梗塞の超急性期治療である血栓回収術が47件と関西トップレベルとなりました。

加えて当センターの特徴でもあります直達手術の症例、特に動脈瘤に対するクリッピング術が24例とこちらも関西を代表する数となっています。



【通常外来診療】月、火、水、木、金、土曜日の午前と火曜日の午後に行っています。

基本的には予約制となっていますが、予約外や飛び込み診療にもflexibleに対応しております。

【救急外来（夜間・休日を含む）】脳神経外科専門医が専用のホットラインを常備し、24時間365日の対応をしております。

これからも地域の医療機関の皆様との連携を更に強化しながら、地域の急性期治療へ貢献してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年手術実績

脳血管障害	163
くも膜下出血（開頭クリッピング術）	15
くも膜下出血（コイル塞栓術）	1
未破裂脳動脈瘤（開頭クリッピング術）	9
未破裂脳動脈瘤（コイル塞栓術）	0
開頭血腫除去術	14
頸動脈内膜剥離術（CEA）	54
頸動脈ステント留置術	5
脳血管吻合術（STA-MCA等）	13
急性期血栓回収術	47
脳梗塞に対する外減圧術	3
脳動静脈奇形（AVM）	2
脳腫瘍	7
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	2
開頭腫瘍摘出術	5
頭部外傷	35
開頭血腫除去術	2
慢性硬膜下血腫（穿頭術）	33
水頭症手術	21
その他	45
総数	271